

令和3年度学校評価自己評価表（評価計画）

A：100%以上 B：90%以上 C：80%以上 D：80%未満

廿日市市立佐方小学校

評価計画						自己評価				学校関係者	改善方策
中期経営目標 (めざす児童生徒像)	短期経営目標 (めざす児童生徒像)	目標達成のための 具体的方策	評価項目・指標	目標値	分掌	中間 10月	最終 2月	達成度(2 月)	評価	結果と課題の分析	
【確かな学力・学び続ける力】 学ぶ喜びにあふれた分かる授業 を創造する。	◎学習意欲の向上を図り、 基礎・基本の確実な定着を図る。	「ユニバーサルデザインを 生かした授業づくり」の校内 研修を実施する。	<全国学力・学習状況調査児童 質問紙> 課題の解決に向けて、自分で 考え、自分から取り組む児童 の割合【市共通項目】	85%以上	教務						
			<国語科における思考・判断・ 表現> ・国語科において、期末テスト の「思考、判断、表現」の観点 の問題を80%以上正答した 児童の割合 ・児童アンケートで「自分の 考えを相手に分かりやすく 伝えることができた」という 項目で肯定的評価をした割合 【中学校区共通項目】	80%以上 80%以上							
			<ユニバーサルデザイン> ・ユニバーサルデザインの考え を生かした授業づくりを行っ ていると答えた教職員の割合 【重点項目】	100%							
【豊かな心】 自分を大切にし他者を大切に し、集団の中で力を発揮させる。	◎「出番」「チャレンジ」 「承認」する場を児童に与え、 児童の自己有用感を高める。	基本的な生活習慣(挨拶)に 取り組む。  自ら進んで、本気で頑張る、 根気よく清掃活動に取り組む。  行事や日々の生活において互 いの良さを見つける場を設け る。	<あいさつ> ・教職員・保護者アンケート で「児童は進んであいさつを しています」という項目で肯 定的評価をした割合	70%以上	生徒指導						
			<清掃活動> ・「時間いっぱい丁寧に掃 除をしている」と回答した 児童の割合【中学校区共通 項目】	90%以上							
			<自己有用感> ・「友達、私のことを分かっ てくれている」で肯定的評 価をした第3学年以上の児童 の割合(アセス)	85%以上							
【保護者・地域との信頼関係 の強化】 情報を発信し学校の教育方針 を理解してもらい、地域の教 育力を学校に生かす。	自ら進んで地域行事等に 参加し、地域に親しみを感 じる児童を増やす。	地域素材を生かした学習を 各学年で実施し、地域に愛 着をもつ児童を育成する。	<ふるさと学習> ・各教科・領域等で、地域 に愛着をもてるように単元 を構成して授業を実践した 学年の割合	100%	生徒指導						
【体力の向上・健康な体】 すべてのエネルギーの源である 健康を保持し体力を向上させ る。	日常的に運動を奨励し、 基本的な生活習慣の確立を 図る。	家庭での規則正しい生活の 送り方についての意識の向 上に取り組む。  日々の健康管理に取り組み、 「新しい生活様式」の徹底を 図る。  体力づくりに取り組む。	<就寝時刻> ・学期ごとにアウトメディア、 睡眠の調査を行い、生活リ ズムチェック週間の期間中、 4日/5日、目標達成できた 児童の割合	85%以上	健康教育						
			<朝ごはん> ・毎日、朝食を食べて登校す る児童の割合 ・食に関するアンケート結果 や生活リズムチェック週間の 5日/5日、目標達成できた 児童の割合	90%以上							
			<コロナウイルス感染症対策> ・毎朝計測した体温と体調に ついてを健康チェックカード に記入し、登校後担任に提出 する児童の割合	100%							
			<外遊び> ・1日1回、外遊びができた 児童の割合 「昼休憩などにしっかりと外 で遊んでいますか」という 項目で肯定的評価をした 児童の割合	70%以上							
【風通しのよい職場づくり】 子どもと向き合う時間を確保 し、教育の質の向上を図り、 教職員一人一人が健康で、 生き生きとやりがいをもって 勤務できる環境づくりを推 進する。	◎学校における自律的な 業務改善・業務削減の推 進を図る。	校務分掌の見直しを図る。 定時退校日の設定を行い、 教師のワーク・ライフバラ ンスの推進を図る。	<子どもと向き合う時間> ・子どもと向き合う時間が 確保されていると感じる 教職員の割合	80%以上	教務 生徒指導 健康教育						
			<効率的な働き方①> ・時間外勤務時間が月平均 80時間未満の教職員の割合	100%							
			<効率的な働き方②> ・時間外勤務時間が月平均 45時間未満の教職員の割合	50%以上							